

Enterprise Premium 電子証明書発行サービス

電子証明書インストール手順書

[Enterprise Premium CA - G3/CD・USBメモリ]

Ver2.3

三菱電機デジタルイノベーション株式会社

目次

1. はじめに.....	4
2. 実施手順.....	4
2.1. Windows 証明書ストアへの電子証明書インポート手順.....	4
2.2. 電子証明書インポート完了確認.....	10
3. SSL クライアント認証サイトの利用方法（参考）.....	16
4. 電子証明書の削除手順（参考）.....	17

改定履歴

改定日	版	内容	作成者
2016. 10. 21	1. 0	初版	ジャパンネット株式会社
2018. 07. 02	2. 0	合併に伴う社名変更	三菱電機インフォメーション ネットワーク株式会社
2022. 5. 23	2. 1	Microsoft Edge 対応	三菱電機インフォメーション ネットワーク株式会社
2024. 11. 11	2. 2	Windows11 対応	三菱電機インフォメーション ネットワーク株式会社
2025. 04. 01	2. 3	新会社設立に伴う社名変更	三菱電機デジタルイノベーション 株式会社

1. はじめに

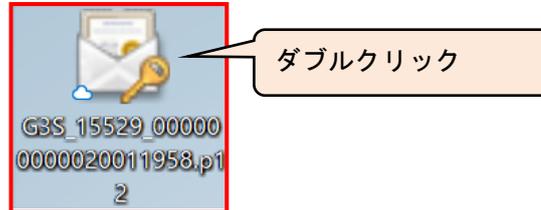
本手順書は、Enterprise Premium 電子証明書発行サービス(以下、当サービス)の電子証明書を WindowsOS の証明書ストアへインポートする手順書になります。電子証明書のお申し込み時の格納媒体に CD-R、もしくは USB メモリをご選択された電子証明書が対象です。

本手順書に掲載している画像は OS:Windows 11、ブラウザ:Microsoft Edge のものです。お客様がご利用になる OS やブラウザにより画像が一部異なる場合がありますが、適宜読み替えていただきますよう、よろしくお願い致します。

2. 実施手順

2.1. Windows 証明書ストアへの電子証明書インポート手順

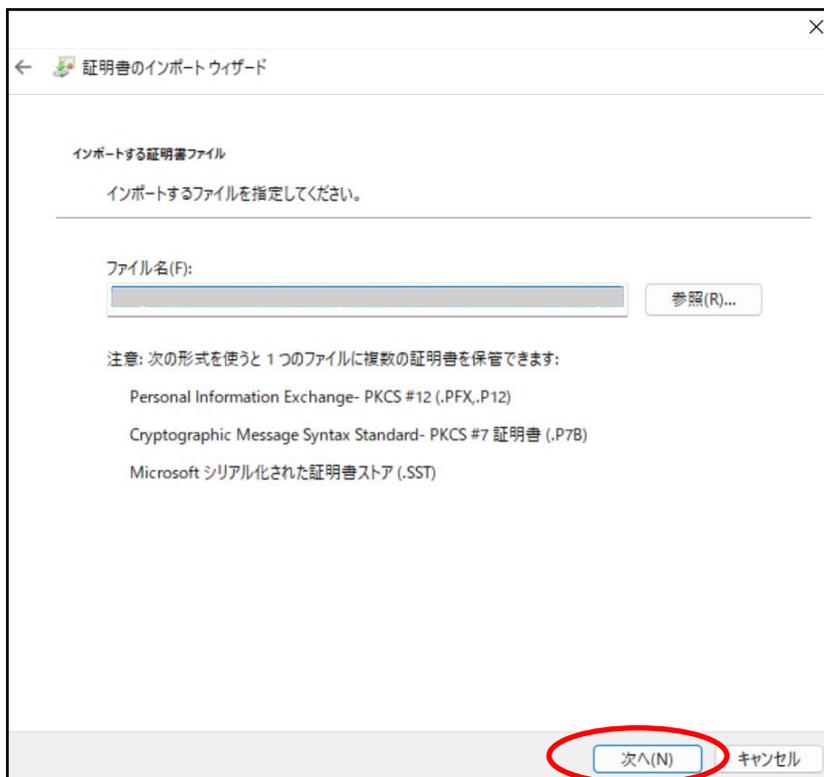
- ※ Windows 証明書ストア以外へのインポート手順はお客様企業のシステム管理者の方等にご確認ください。
 - ※ セキュリティの観点から証明書ファイルはインストール後、速やかにバックアップをメディアなどに保存することをお勧めします。
 - ※ 提供媒体内の証明書ファイルは大切に保管ください。弊社ではセキュリティの観点からバックアップを保持していないため、紛失時の再発行をお受けすることはできません。
- (1) 提供媒体内の証明書ファイルをダブルクリックします。



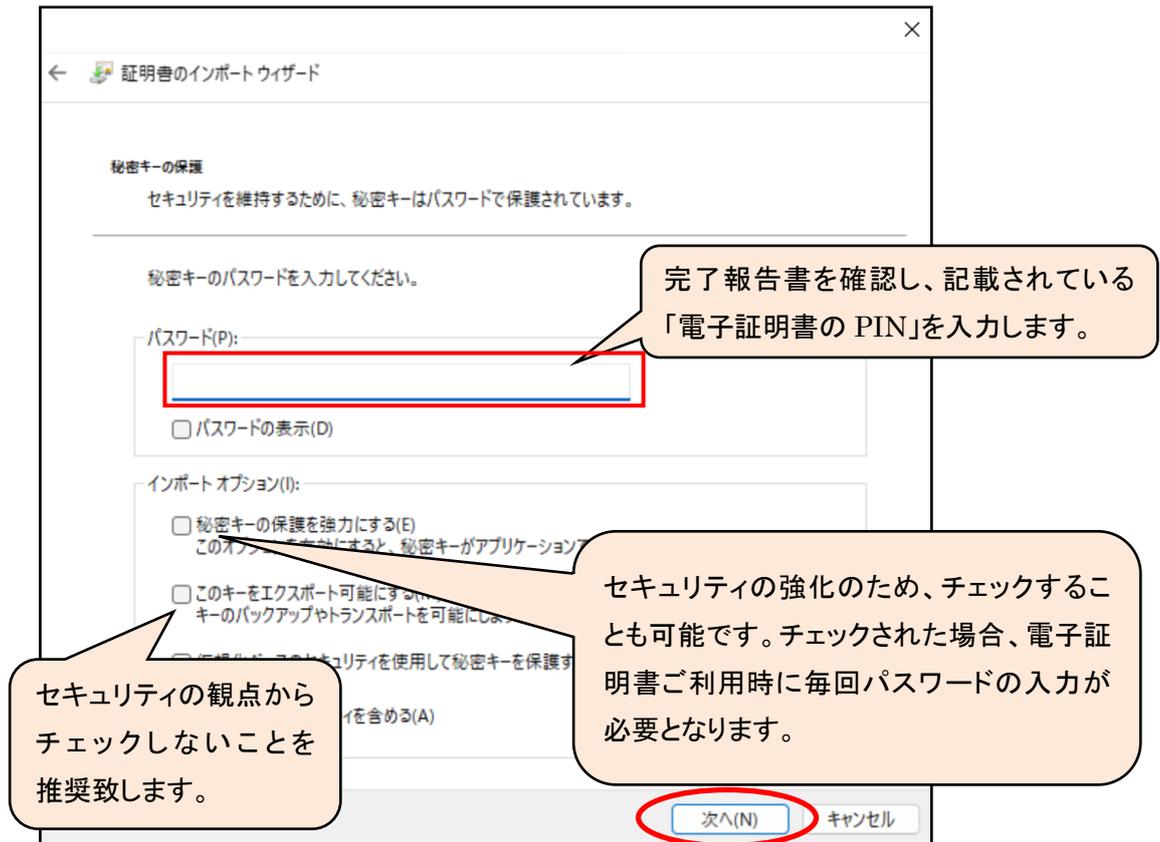
(2) 「証明書のインポート ウィザードの開始」画面が開くので、「次へ(N)>」をクリックします。



(3) 「次へ(N)>」をクリックします。



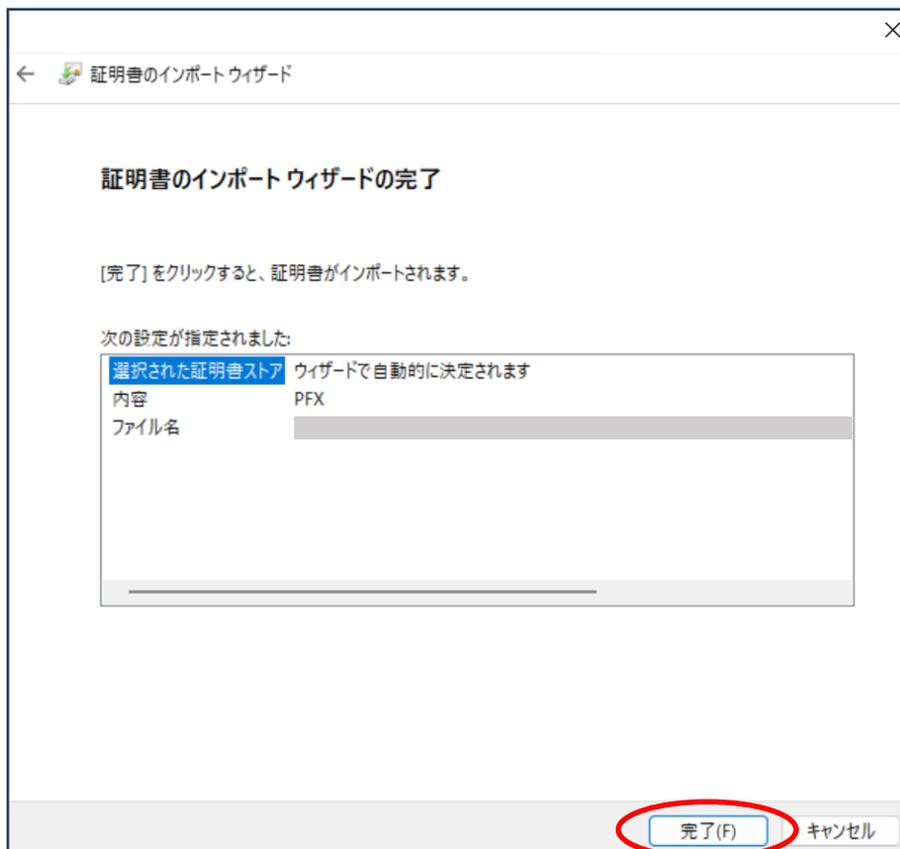
- (4) 「パスワード」欄に、発行報告書に記載されている「電子証明書の PIN」を入力し、「次へ(N)>」をクリックします。



- (5) 「証明書の種類に基づいて…選択する(U)」にチェックがついていることを確認し、「次へ(N)>」をクリックします。



(6) 「完了」をクリックします。



※ 手順 2.1(4)で「秘密キーの保護を強力にする」をチェックした場合、下記手順が追加されます。
チェックされていない場合は(補足 1)～(補足 4)の手順は不要です。

(補足 1)「セキュリティレベルの設定(S)」をクリックします。



(補足 2)セキュリティレベル「高(H)」をチェックし、「次へ(N)>」をクリックします。

セキュリティレベルの選択

このアイテムに適切なセキュリティレベルを選択してください。

高(H)
このアイテムが使用されるときに、私の許可とパスワードが必要です。

中(M)
このアイテムが使用されるときに、私の許可が必要です。

< 戻る 次へ(N) > キャンセル

(補足 3)「パスワード」欄に、パスワードを入力し、「完了(F)」をクリックします。

※ 下記パスワードは電子証明書ご利用時に毎回確認されるパスワードになります。お客様のパスワードポリシーに従いパスワードを設定ください。

パスワードの作成

このアイテムを保護するための、パスワードを作成します。

このアイテム用に新しいパスワードを作成する。

CryptoAPI 秘密キー のパスワード:

パスワード:

確認入力:

< 戻る 完了(F) キャンセル

(補足 4)「OK」をクリックします。



(7) 下図のような「セキュリティ警告」画面が表示されるので、「はい(Y)」をクリックします。

※ 既に下記の証明書がインポートされている場合、画面は表示されませんので本手順は不要です。



(8) 「OK」をクリックします。

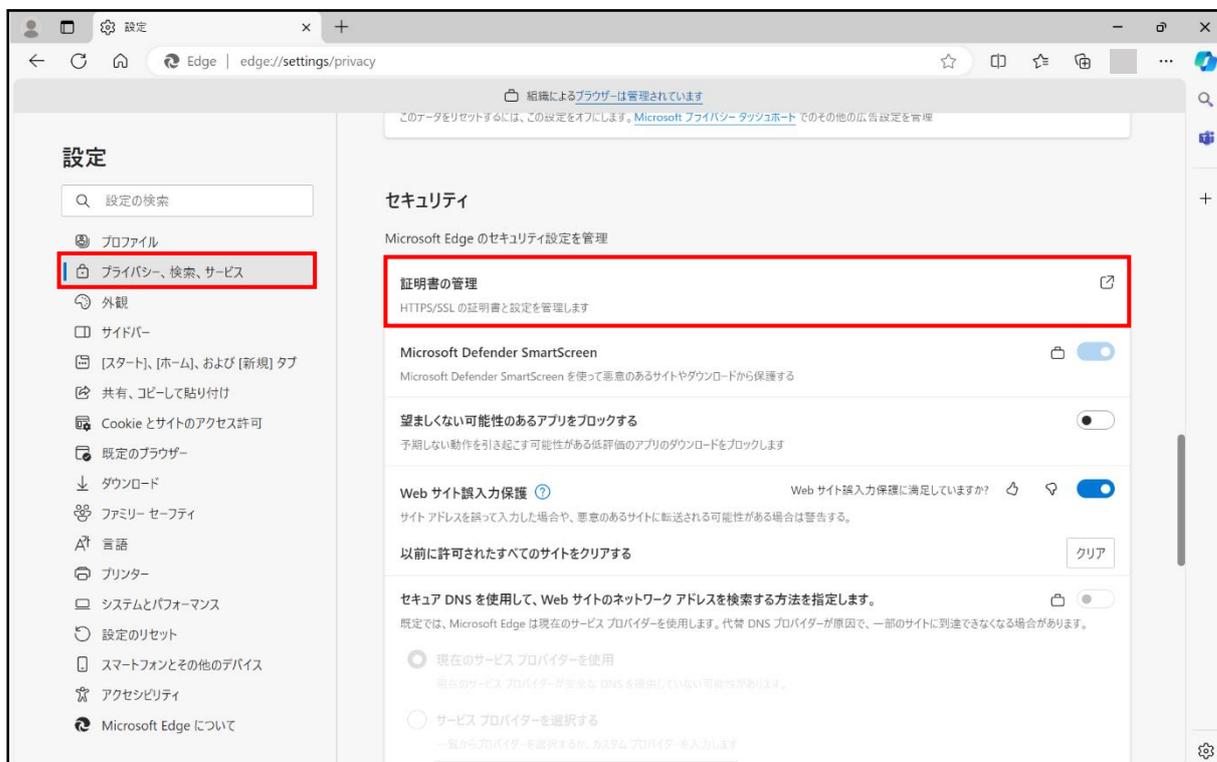


2.2. 電子証明書インポート完了確認

(1) Microsoft Edge を開き、画面右上の「…」>「設定」をクリックします。



(2) 「設定」画面が表示されるので、左のメニューから「プライバシー、検索、サービス」を選び、右画面のセキュリティ項目にある「証明書の管理」をクリックします。



- (3) 「証明書ストア」の「個人」タブが開きます。「発行者」が「Enterprise Premium CA - G3」であり、「発行先」に指定したコモンネームの証明書があることを確認します。

証明書 ×

目的(N):

個人 ほかの人 中間証明機関 信頼されたルート証明機関 信頼された発行元 信頼されない発行元

発行先	発行者	有効期限	フレンドリ名
	Enterprise Premium CA - G3	2029/04/30	

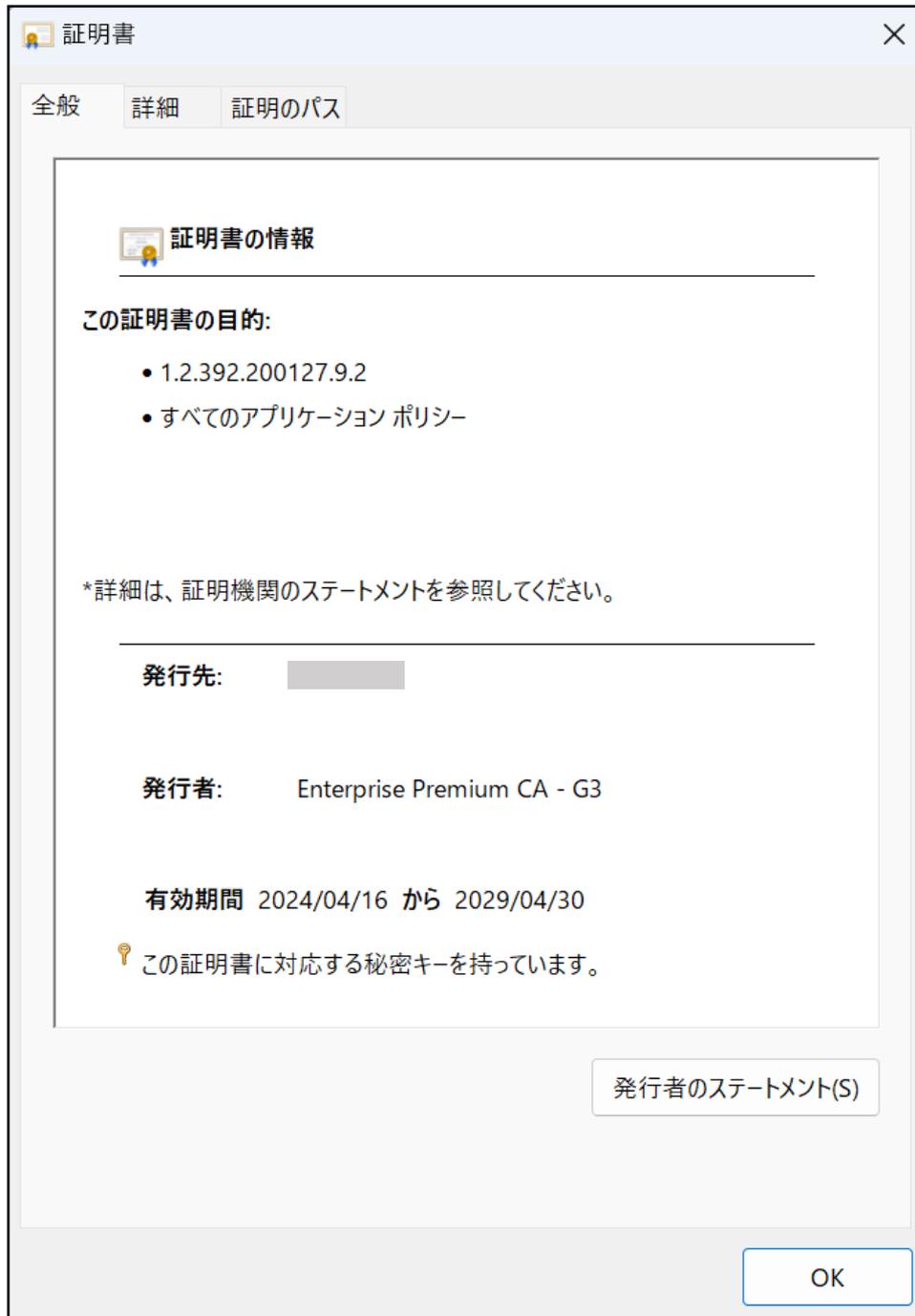
インポート(I)... エクスポート(E)... 削除(R) 詳細設定(A)

証明書の目的

表示(V)

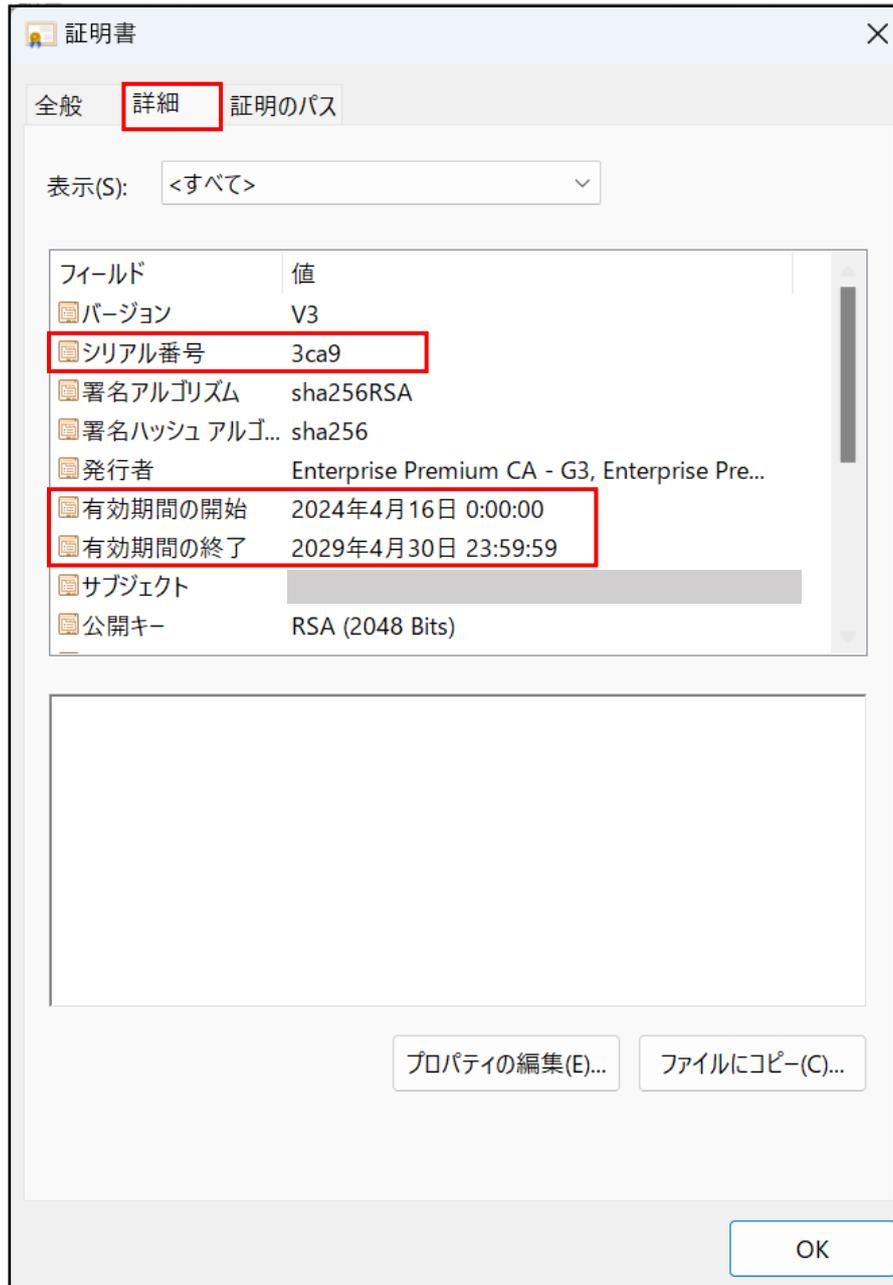
閉じる(C)

(4) 証明書をダブルクリックします。証明書が表示されます。

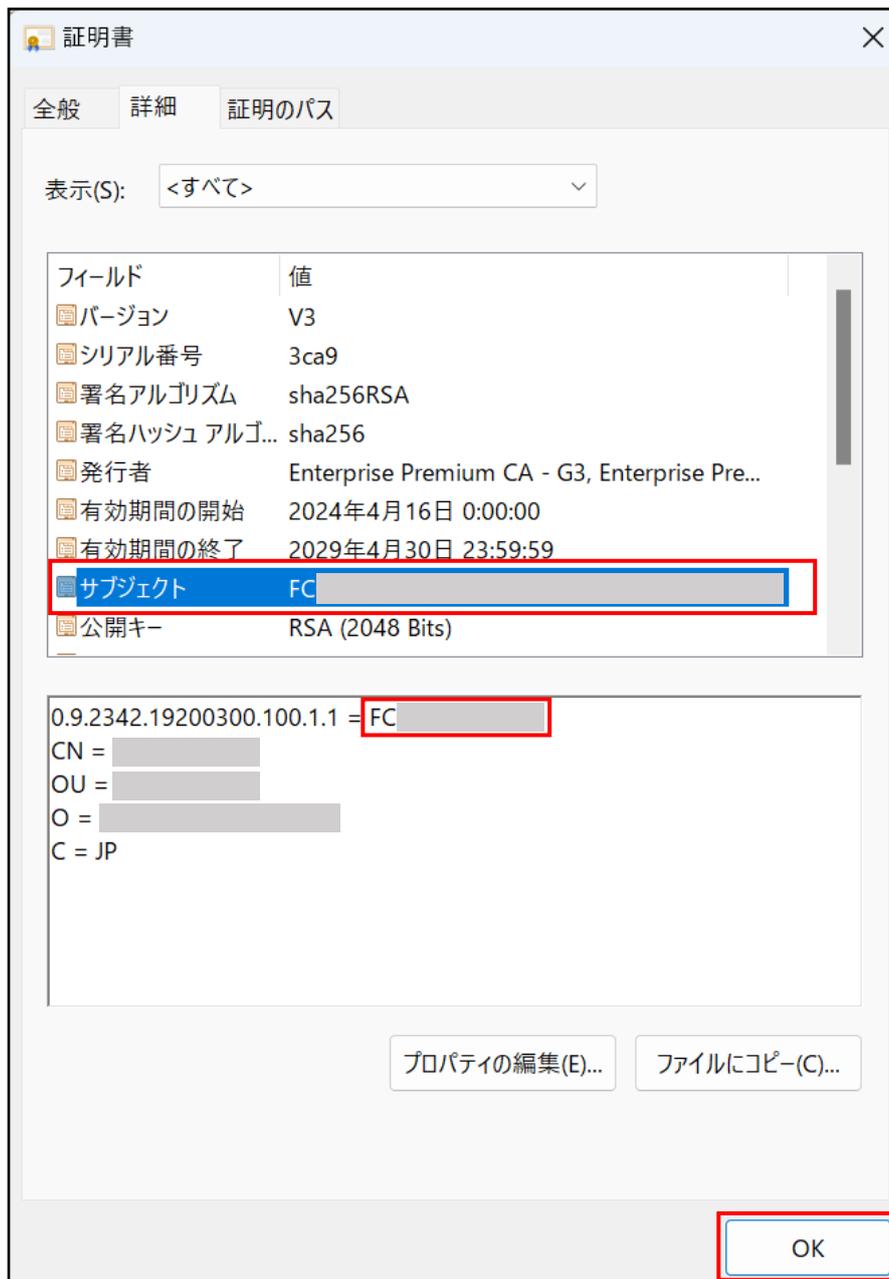


(5) 証明書のシリアル番号等の詳しい情報は「詳細」タブに表示されます。

- ・ 証明書のシリアル番号は「シリアル番号」の右に 16 進数で表示されます。
- ・ 証明書の有効期間については「有効期間の開始」、「有効期間の終了」として表示されます。



- ・ 証明書 ID の確認方法は画面を下にスクロールし、サブジェクトをクリックします。下の枠を確認頂き EC または FC から始まる英数字が証明書 ID となります。



- (6) 左下の「OK」ボタンをクリックし、画面を閉じます。

- (7) 「信頼されたルート証明機関」タブに「発行先」が「Enterprise Premium CA - G3」の証明書があることを確認します。

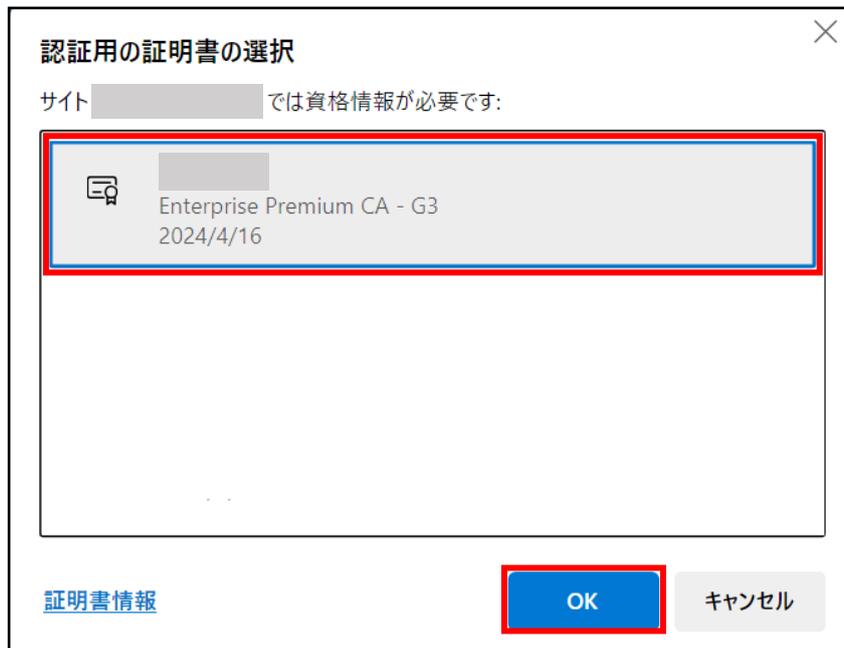


- (8) 「証明書ストア」、「Microsoft Edge」を閉じます。

以上で電子証明書のインポートは完了です。

3. SSL クライアント認証サイトの利用方法（参考）

- (1) 証明書を利用するホームページへアクセスします。
- (2) 証明書選択画面が表示されます。インポートした証明書を選択し、「OK」をクリックします。

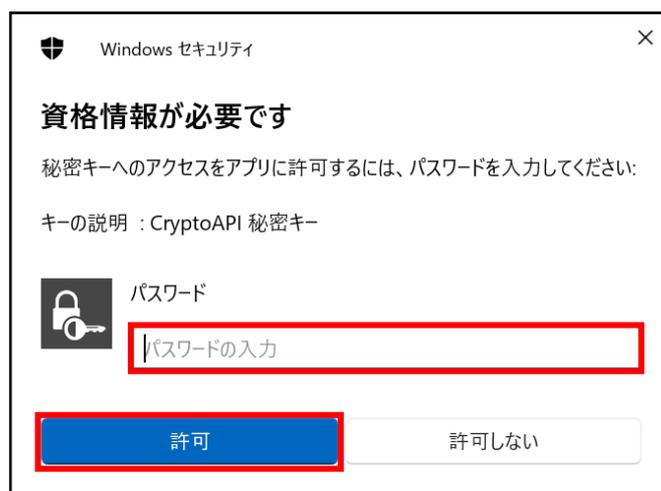


※ ブラウザの設定により証明書選択画面が表示されない場合があります。

「インターネットオプション」>「セキュリティ」タブの「インターネット」ゾーン>「レベルのカスタマイズ」設定の「既存のクライアント証明書が1つしか存在しない場合の証明書の選択」が「有効にする」の場合は、証明書選択画面は表示されません。

※ 手順 2.1(4)で「秘密キーの保護を強力にする」へチェックした場合、キーを使用するためのアクセス許可の要求画面が表示されます。

「パスワード」へ手順 2.1(4)で設定したパスワードを入力し、「許可」をクリックします。



- (3) SSL クライアント認証に成功した場合、接続先のホームページが表示されます。

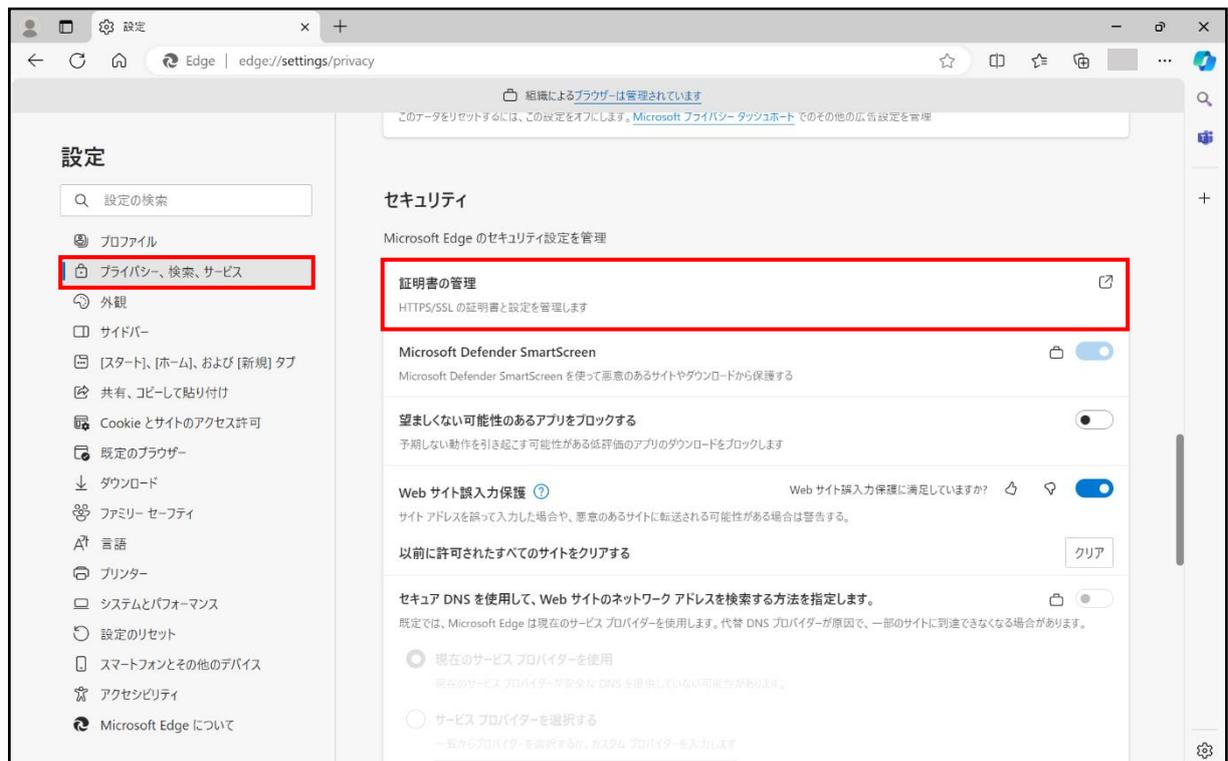
4. 電子証明書の削除手順（参考）

※ 本手順を実施すると電子証明書が利用できなくなります。再度、電子証明書をインポートする場合は、電子証明書のバックアップが存在していることをご確認の上、実施ください。

(1) Microsoft Edge を開き、画面右上の「…」>「設定」をクリックします。



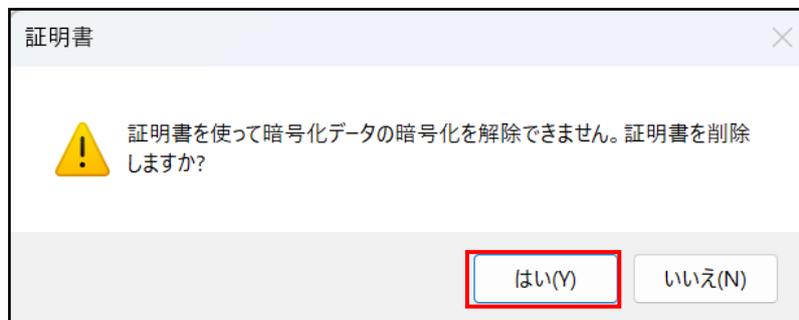
(2) 「設定」画面が表示されるので、左側メニューから「プライバシー、検索、サービス」を選び、右画面から「証明書の管理」をクリックします。



(3) 「証明書ストア」の「個人」タブが開かれます。削除する証明書を選択し、「削除(R)」をクリックします。



(4) 「はい(Y)」をクリックします。



(5) 上記(3)の画面で削除されていることをご確認ください。